

地域と大学

——城西大学・城西短期大学地域連携センター紀要——

2021年3月 創刊号

巻頭言	学長 藤野陽三	1
創刊に向けて	副学長 于洋	2
【査読論文】		
「奥武蔵」の誕生	加藤寛之	4
【論文】		
越生町の固有品種「べに梅」果実の科学的特徴	飯塚讓・金賢珠・松本明世・君羅好史・清水純・真野博	16
【地域教育実践報告】		
埼玉県における地域住民の質の高い暮らしを目指した専門職連携教育 ——彩の国連携力育成プロジェクト (SAIPE)	古屋牧子・上田秀雄・白幡晶・大嶋繁・村田勇・高尾浩一・小糸寿美・ 堀由美子・水野文夫・岩田直洋・細谷治・小林大介	22
小川町にぎわい創出課との連携による地域教育——留学生対象「日本文化研修Ⅰ」における学外授業——	村越純子	28
【地域連携報告】		
図書館から広がる地域連携——知の拠点、地域の拠点を目指して	小川佳菜子・宮内博子・甲田さと美	39
【地域情報】		
オオサキを見た！——飯能・秩父地域に伝承される未知の生物目撃談	平井大作・平井亜未・加藤寛之	48
【地域活動ノート】		
医療栄養学科におけるアクティブラーニングを介した学生の自己効力感の向上に対する試み ——医療栄養学概論演習による高麗川プロジェクトの活動報告	岩田直洋・古屋牧子・関口祐介・君羅好史・大澤吉弘・松本明世・真野博	52
医療栄養学科における農作業体験を通じた学生の食への興味・関心の向上に対する試み ——収穫したさつまいもを使ったレシピ作成	古屋牧子・岩田直洋・加藤勇太・関口祐介・君羅好史・大澤吉弘・松本明世・真野博	54
管理栄養士資格を有する大学院生による特定健康診査の機会を利用した食育活動 ——ときがわ町における3年間にわたる実践報告	君羅好史・加藤勇太・荒井健・大澤吉弘・清水純・真野博	56
管理栄養士有資格者大学院生の特論演習科目を通じた地域活性化の取組 ——「北坂戸にぎわいサロン通信薬学部医療栄養学科コラム&レシピ」の作成	野村佳歩・塩原由菜・手塚宥哉・久保正徳・大澤吉弘・君羅好史・真野博	58
「疑わしくは行動せよ！」J-DAG (Just-Disaster Action Game) を活用した地域連携・教育実践例の紹介	飯塚智規	60
東武鉄道越生線沿線プロモーション作品の制作	庭田文近・現代政策学部庭田ソフォモアセミナー2020年度履修生	62
2020年度 城西大学・城西短期大学の地域活動		64
『地域と大学——城西大学・城西短期大学地域連携センター紀要』投稿規程		73
編集後記		75

地域と大学

—城西大学・城西短期大学地域連携センター紀要—

創刊号（第1号）

2021年3月

城西大学・城西短期大学 地域連携センター

『地域と大学——城西大学・城西短期大学地域連携センター紀要』 投稿規程

1. 目的

『地域と大学——城西大学・城西短期大学地域連携センター紀要 (Journal of Josai Community Liaison Center)』(以下「紀要」)は、城西大学・城西短期大学地域連携センター(以下「地域連携センター」)ないしは本学の地域活動・地域研究により蓄積された成果を掲載し刊行することにより、地域連携活動および地域を舞台とした教育・地域を対象とした研究を促進することを目的とする。

2. 発行

- (1) 紀要は年1回発行する。
- (2) 紀要の編集は、地域連携センター内に設置する紀要編集委員会(以下「編集委員会」)が取り扱う。
- (3) 編集委員会は、編集長1名と編集委員2名、および担当事務員1名から構成される。
- (4) 編集長および発行責任者は、地域連携センター長とする。
- (5) 編集委員は、地域連携センター運営委員の中から文系学部・理系学部各1名ずつの計2名とする。

3. 区分

- (1) 紀要に投稿・掲載する原稿は、ひろく地域に関するテーマで執筆された未刊行のものであり、以下の①～⑥の区分のものとする。
 - ①査読論文
 - ②論文
 - ③地域調査報告
 - ④地域教育実践報告
 - ⑤地域活動ノート(1件につきA4サイズ横書き日本語で2頁以内)
 - ⑥その他(地域連携報告、地域情報、地域資料、講演録、書評など)
- (2) 執筆者は、投稿時に希望の区分を提示する。
- (3) 使用言語は、区分⑤以外は特に定めない。
- (4) 字数または枚数制限および横書き・縦書きは、区分⑤以外は特に定めない。

4. 執筆資格

- (1) 城西大学・城西短期大学の教職員・事務職員：専任・非常勤を問わず、上記区分の全てを執筆・投稿することができる。
- (2) 城西大学・城西短期大学名誉教授および定年退職者：上記区分の全てを執筆・投稿することができる。
- (3) 城西大学・城西大学大学院・城西短期大学の在学生：上記区分⑤を執筆・投稿することができる。

きる。なお、城西大学大学院博士後期課程在学者は、上記区分④以外の全てを執筆・投稿することができる。

※その他、卒業生や学外者などであっても、上記の資格者との共著であれば当該区分を執筆・投稿することができる。また、編集委員会が特に認めた者は、単著で執筆・投稿することができる。

5. 執筆要領

- (1) 使用言語および分量は、投稿区分⑤以外は特に定めない。
- (2) 文章は原則として黒字だが、特に必要な場合は図・表・写真などはカラーを使うこともできる。
- (3) 申込後、掲載可となった場合は、別に定める区分ごとの「執筆要領」に基づいて掲載用原稿を執筆する。

6. 掲載の採否

- (1) 区分①については、編集委員会が委嘱する査読者による審査に基づき、編集委員会が決定する。
- (2) 上記区分以外については、編集委員会が決定する。

7. 発行形態および公開

- (1) 紀要は、電子ファイルおよび冊子にて発行する。
- (2) 電子ファイルは、地域連携センターホームページおよび城西大学機関リポジトリ (JURA) からインターネット上に公開する。

8. 著作権

- (1) 掲載された著作物の著作権は、著作者が保持する。
- (2) 掲載された著作物の著作者は、当該著作物に関する複製及び公衆送信を編集委員会に対して許諾したものとみなす。編集委員会が複製及び公衆送信を第3者に委託した場合も同様とする。

9. 原稿料等

- (1) 執筆者に対して、原稿料は支払わない。
- (2) 抜き刷りおよび冊子は、希望者に有償で提供する。

2020年9月

城西大学・城西短期大学地域連携センター 紀要編集委員会

編 集 後 記

さて、この『地域と大学』を手にとったあなたは、どのように活用しますか？

城西大学・城西短期大学は、この地、けやき台に開学して以来、「学問による人間形成」を理念として、極めて多くの地域の方々、企業、並びに自治体等の方々とともに、学生教育に邁進して参りました。

このような地域活動・研究により蓄積された成果を掲載し刊行すること、地域連携による教育・研究を促進することを目的として、本紀要を創刊いたしました。

創刊号には、査読論文や論文をはじめ、地域教育実践報告、地域連携報告、地域情報、地域活動ノートに、12報を投稿いただくことができました。執筆者の方々に心から感謝し、お礼申し上げます。

また、本紀要は、地域連携に取り組まれている教職員の方々はもちろんのこと、とくに、「地域活動ノート」は、地域研究・地域課題解決のための活動などを実践された、学生の皆さんに「活動を通して得られた、自身の成長と学修の成果」の記録とすると共に、社会へ、そして先輩、同級生、さらに後輩へ伝えるものとして、活用してもらえることを期待しています。

城西大学・城西短期大学地域連携センター紀要編集委員会

松本明世（編集委員長）

高尾浩一

庭田文近

渡辺沙織（総務課地域連携担当）

地域と大学——城西大学・城西短期大学地域連携センター紀要 創刊号

令和3年3月31日 発行

編集者 城西大学・城西短期大学地域連携センター紀要編集委員会
発行者 城西大学・城西短期大学地域連携センター
印刷者 有限会社 東京工芸社
発行所 城西大学
埼玉県坂戸市けやき台1-1
TEL 049-286-2233 (代)
〒350-0295

Printed in Japan ISSN 2436-2336(Print) 2436-2530(Online)
©2021 城西大学

Journal of Josai Community Liaison Center

No.1 March 2021

CONTENTS

Preface	FUJINO Yozo	1
	YU Yang	2
[Peer-Reviewed Article]		
Birth of "OKUMUSASHI"	KATOH Hiroyuki	4
[Article]		
Characteristics of Beni ume : an endemic species to Japanese plum in Ogose townIIZUKA Yuzuru, KIM Hyounju, MATSUMOTO Akiyo, KIMIRA Yoshifumi, SHIMIZU Jun, MANO Hiroshi		16
[Reports]		
Interprofessional education(IPE) with the philosophy of "realizing high-quality lifestyles for local residents" in Saitama prefecture - Saitama Interprofessional Education Project (SAIPE)FURUYA Makiko, UEDA Hideo, SHIRAHATA Akira, OSHIMA Shigeru, MURATA Isamu, TAKAO Koichi, KOITO Hisami, HORI Yumiko, MIZUNO Fumio, IWATA Naohiro, HOSOYA Osamu, KOBAYASHI Daisuke		22
Education for the Regional Contribution with the cooperation of the Industry Promotion Section of Ogawa town : A case study of the Off-campus class of Japanese Studies for foreign students in Josai Junior CollegeMURAKOSHI Junko		28
The library will collaborate with the community - We will be a hub of knowledge and a hub for the communityOGAWA Kanako, MIYAUCHI Hiroko, KOTA Satomi		39
[Information]		
I saw Osaki ! - Witnesses of unknown creatures handed down in the Hanno / Chichibu areaHIRAI Daisaku, HIRAI Ami, KATOH Hiroyuki		48
[Notes]		
Attempt to improve students' self-efficacy through active learning in department of clinical dietetics and human nutrition, faculty of pharmacy and pharmaceutical sciences - Activity report of the komagawa projects by exercise on human nutritional scienceIWATA Naohiro, FURUYA Makiko, SEKIGUCHI Yuusuke, KIMIRA Yoshifumi, OSAWA Yoshihiro, MATSUMOTO Akiyo, MANO Hiroshi		52
Attempt to improve students' interest in food through agricultural experience in department of clinical dietetics and human nutrition, faculty of pharmacy and pharmaceutical sciences - Creating recipes using sweet potatoes harvested by the students themselvesFURUYA Makiko, IWATA Naohiro, KATO Yuta, SEKIGUCHI Yuusuke, KIMURA Yoshifumi, OSAWA Yoshihiro, MATSUMOTO Akiyo, MANO Hiroshi		54
Nutrition education by graduate students certified as registered dietitians at the occasion of specific health checkups - A Three-Year Report on Practice in Tokigawa TownKIMIRA Yoshifumi, KATO Yuta, ARAI Takeshi, OSAWA Yoshihiro, SHIMIZU Jun, MANO Hiroshi		56
Efforts for regional revitalization through special lectures of registered dietitian graduate studentsNOMURA Kano, SHIOBARA Yuna, TEZUKA Yuya, KUBO Masanori, OSAWA Yoshihiro, KIMIRA Yoshifumi, MANO Hiroshi		58
Introduction of practical examples of community collaboration and education using J-DAG (Just-Disaster Action Game) IIZUKA Tomoki		60
Production of Works to Promote the Tobu Ogose Line and Surrounding Areas NIWATA Fumichika, Niwata Sophomore Seminar 2020		62
Annual Report 2020		64

JOSAI UNIVERSITY and JOSAI JUNIOR COLLEGE
Community Liaison Center

1-1 Keyakidai, Sakado-shi, Saitama, JAPAN